

写真で見る米麦改良協会の活動

○種子圃場審査（４月～１０月）

良い種子をとるため採種圃場を見て回り、異株、病害虫、雑草などを調べます



採種ほ場が織りなす棚田の農村景観



初夏。麦が実る「麦秋（ばくしゅう）」



彼岸花と実る稲穂は日本の原風景



○岐阜県種子生産体制強化対策協議会（年４回）

種子生産者、ＪＡ関係、県、協会で種子の生産計画の協議や情報交換を行います。



○県内採種ほ・県外先進地視察研修（８月）

県内各地の採種ほ場と県外の先進地を視察し技術向上や課題の共有を図ります。



○ハツシモ種子目揃え会（12月）

5箇所あるハツシモ種子生産地ごとに種子の充実度を比較調査し、揃った種子づくりを進めます。



○麦作共励会現地審査（5月）

共励会に参加する生産者の圃場で生育や実の付き具合を調査します。



○共励会表彰式（3月）

麦作・豆類経営改善共励会の表彰式を開催し、功績をたたえ成果を広く紹介します。

